

● 病院概要

病床数 75床（一般病棟40床 地域包括ケア病棟35床）

救急医療 DPC対象病院（Ⅲ群） 二次救急告示

連携医療機関 関西医科大学総合医療センター 関西医科大学附属病院 済生会野江病院
大阪市立総合医療センター 北野病院 大手前病院 関西電力病院

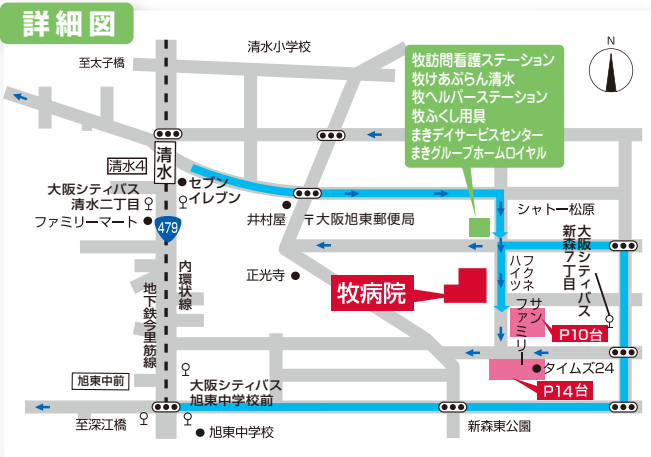
診療科目 内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 外科 整形外科 放射線科 皮膚科
リハビリテーション科

認定等 (社) 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
(社) 日本消化器学会認定施設
(財) 日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver.1.1)

広域図



詳細図



●地下鉄今里筋線をご利用の方

清水駅 より徒歩約3分

●京阪電車をご利用の方

千林駅 より徒歩約12分

森小路駅 より徒歩約12分

●地下鉄谷町線をご利用の方

千林大宮駅 より徒歩約18分

●大阪シティバスをご利用の方

清水2丁目 より徒歩約3分

旭東中学校前 より徒歩約3分

新森7丁目 より徒歩約3分

●お車をご利用の方

阪神高速森小路ランプ より約5分

※病院周辺は一方通行が大部分となっております。

1 牧病院

〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28
TEL: 06-6953-0120

牧病院デイケアセンター

TEL: 06-6953-1881

牧病院訪問リハビリテーション

TEL: 06-6953-6852

2 牧整形外科病院

〒536-0008 大阪市城東区関目6-15-30
TEL: 06-6786-6200

牧訪問看護ステーション関目出張所

TEL: 06-6786-6231

牧けあぶらん関目

TEL: 06-6786-6230

3 牧リハビリテーション病院

〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3-6-34
TEL: 072-887-0010

牧リハビリテーション病院

牧リハビリテーション病院デイケア門真

TEL: 072-887-0050

訪問リハビリテーション門真

TEL: 072-887-0010

4 牧老人保健施設

〒535-0004 大阪市旭区生江2-15-14
TEL: 06-6929-0300

5 まきグループホーム

〒535-0004 大阪市旭区生江2-14-24
TEL: 06-6929-5355

6 牧訪問看護ステーション

〒535-0021 大阪市旭区清水4-2-22
TEL: 06-6953-1222

牧けあぶらん清水

TEL: 06-6953-1235

牧ヘルパーステーション

TEL: 06-6953-1107

牧ふくし用具

TEL: 06-6958-1030

まきデイサービスセンター

TEL: 06-6953-1506

まきグループホームロイヤル

TEL: 06-6951-1370

7 牧訪問看護ステーション高殿出張所

〒535-0031 大阪市旭区高殿6-18-41-107
TEL: 06-4254-6660

8 牧訪問看護ステーション守口

〒570-0028 大阪府守口市本町1-7-21-102
TEL: 06-6991-5556

牧けあぶらん守口

TEL: 06-6991-5557

9 大阪市立介護老人保健施設

おとしよりすこやかセンター北部館

〒535-0031 大阪市旭区高殿6-14-41

TEL: 06-6955-4865

おとしよりすこやかケアプラセンター北部館

TEL: 06-6955-7511

10 守口第5地域包括支援センター

〒570-0033 大阪府守口市大宮通1-13-7
TEL: 06-6992-1180

11 旭区東部地域包括支援センター

〒535-0022 大阪市旭区新森4-27-13
TEL: 06-4254-3336

12 法人本部

〒535-0021 大阪市旭区清水2-11-14
TEL: 06-6953-0190

牧病院 病院案内



Maki Hospital

Hospital guidance



牧ヘルスケアグループ
牧病院

〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28
TEL: 06-6953-0120 (代)
FAX: 06-6953-7006



日本医療機能評価機構
認定番号 JC1048 号



<http://www.maki-group.jp/>



この印刷物は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。



PRINTED WITH
SOY INK
天然植物油大豆油インキ
で印刷しています



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

牧ヘルスケアグループは、
地域の医療機関、介護事業所などと密接な連携をとり、
予防から急性期、回復期、維持期、在宅の機能を担う
「地域完結型の保健・医療・福祉複合体」として、
みなさまの幸せな暮らしを支え続けます。
私たちは「Medical for Happiness」の実現をめざしています。

私たちの理念は、私たちが目指す姿や使命です。
私たちは牧ヘルスケアグループに関わる、みなさまの「一人ひとりの幸せな人生」を支え続けます。
あなたにとっての『Happiness』は、何ですか？
人生において、その時々、人それぞれの「幸せの形」があると私たちは考えます。そして、医療法人である私たちだからこそ出来ることがあります。
それは、患者さん、利用者さんや近隣の医療・介護施設を含めた地域社会で完結する「地域完結型の保健・医療・福祉複合体」として、「医療に基づいた地域包括ケアシステム」を確立することだと考えます。

私たちの約束

『Professional』
医療人としての誇りと謙虚さをもち、
日々研鑽を重ねます。

『Heart』
あたたかい思いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

『Team』
和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

私たちの約束は、私たちの理念を実現するための行動指針です。
これまでの牧ヘルスケアグループでも大切にされてきた姿勢や考え方を、より共有しやすいように、わかりやすくまとめ、3つのキーワードにしています。この約束は、「Professional」「Heart」「Team」の3つからなります。「Medical for Happiness」を実現するために、牧ヘルスケアグループで働く私たち全員が、「私たちも約束」を念頭に置き、常に判断や行動のよりどころとして日々の業務に取りくみます。

牧ヘルスケアグループ理事長

牧 恭彦

Maki Yasuhiko



充実した診療体制を整えて 皆さまの健康な生活と幸せな暮らしを支える 地域密着型病院

牧病院は内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、外科を中心に皮膚科、整形外科（外来のみ）を擁する、地域密着型の急性期病院です。また地域包括ケア病棟を新たに開設し、皆さまが住み慣れた地域で暮らしていくことを支えます。

私たちは地域に根ざした牧病院の特色を活かし、24時間365日の体制で、地域の皆さまに「大きな安心」をお届けしていきます。

病院の基本方針

1. 内科の二次救急病院として、24時間365日対応する。
2. 地域の医療機関、福祉施設と連携を取りながら、地域ネットワーク型の保健医療福祉システムをつくります。
3. 皆さまが住み慣れた地域で暮らしていくことを一般病棟および地域包括ケア病棟で支援します。
4. 十分な説明と理解を心がけ、思いやりのある安全で良質な医療を提供します。
5. 職員が生き活きと働きがいのある職場づくりに努めます。
6. 健全な病院運営により地域医療へ貢献します。



院長
中谷 武嗣
Nakatani Takeshi

機能概念図

内科の二次救急病院として、
いつでも患者さまをお迎えします。

サブアキュート機能：Sub-Acute

在宅や施設に療養中で、急性期治療の必要はないが、一時的な入院が必要となるケース。

(例)◆自宅等療養中の急性増悪 ◆発熱・下痢・脱水
◆食欲不振・栄養不良 ◆急なADL低下 等

急性期病棟



転院・転棟
(ポストアキュート)

地域包括ケア病棟



自宅・施設



入院
(サブアキュート)

退院

かかりつけ医

退院

ポストアキュート機能：Post-Acute

急性期治療が終了後、在宅復帰に向けて、もう少し入院の継続が必要となるケース。

(例)◆他院からの転院
◆牧病院急性期病棟からの転棟 等

その他の理由で一時的な入院が必要となるケース。

(例)◆嚥下評価・訓練 ◆胃ろう造設 ◆急なADL低下 ◆集中的なリハビリテーション ◆教育入院(食事・運動等の生活習慣改善指導) ◆褥瘡治療 ◆抗がん剤治療 ◆家族等による介護・医療処置習得のための練習・指導 ◆服薬調整 ◆家族等の休養・不在(医療必要度が高く介護施設でのショートステイ等が困難な場合) ◆医療ニーズの高いレスパイト 等



救急機能

内科の二次救急病院として地域のみなさまを見守ります。

■ 二次救急に対応し、「お断りゼロ」をめざしています

地域の二次救急病院として、24時間365日、内科の患者さまをお迎えする体制を整えています。時間外診療についても、



「お断りゼロ」をめざす24時間365日体制の救急対応

内科の救急担当医が診療にあたり、外来看護師や放射線技師、臨床検査技師（午前）も勤務しています。また内視鏡の専門医がかけつけるオンコール体制をとっています。

脳や整形外科など専門外の疾患に対しても、当院でできる救急処置を施したのち、責任をもって適切な医療機関へご紹介しています。

私たちは救急医療の基本がプライマリケアであると考え、「お断りゼロ」を目指し、地域の総合内科的な役割をもつ病院として、内科疾患全般に幅広く対応しています。

また患者さまやご家族に安心していただけるように、病状や検査についてわかりやすく説明（インフォームドコンセント）



医師、看護師チームによる救急処置

することを常にこころがけています。

救急隊との連携強化やスタッフ全員の救急対応スキルの向上にも力を注いでいます。



外来・手術機能

地域のかかりつけ病院をめざします。

■ 内科や外科、皮膚科、整形外科の外来診療を行っています

内科は呼吸器内科、循環器科を中心に一般内科として診療しています。

また皮膚は全身の中でも非常に大きな臓器で、良くなったことも悪化したことも

患者さんご自身で直接見ることのできる臓器です。できもの（腫瘍）や炎症など普段と違う変化があったときや他の方と違う変化があるときは、皮膚科を受診ください。

■ 消化器チームとして豊富な治療実績があります

消化器内科は、食道や胃、大腸、胆のう、膵臓などの内視鏡的治療を行っております。また内視鏡的治療の適応ではない病変については、消化器外科と連携の上、外科的手術など迅速に適切な対応をしています。

■ 禁煙外来や睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来、漢方外来など専門外来であなたを支えます

禁煙外来では、呼吸器内科の医師が、患



腹腔鏡下胆のう摘出術

者さまの喫煙歴をきちんと把握した上で、禁煙補助薬の処方、治療の経過を見守ります。禁煙中の症状（離脱症状）が起こっても、治療が続けられるように、診察で相談できます。

また睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来については、終夜ポリソムノグラフィー（PSG）による精査を行っております。就眠中のイビキや無呼吸、日中の眠気やコントロールのつかない高血圧がある方は、ぜひ一度ご相談ください。



臨床検査技師による検体検査



入院機能

緊密なチーム医療で地域医療を支援します。

■ 全スタッフが心をひとつに安心、安全な医療を提供します

患者さまが病気になる前の生活にできるだけ早く戻っていただけるように、私たちは医療パートナーとして、さまざまな角度から支援します。

医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療相談員、医療クラーク、事務職員などさまざまな職種のスタッフがチームを組み、それぞれの強みを活かし、患者さま一人ひとりに最善の医療サービスを提供しています。

なお感染管理委員会や医療安全管理委員会では、療養中の感染管理や医療安全対策に積極的に取り組んでいます。栄養サポートチーム（NST）では治療効果をあげるために重要なポイントとなる栄養状態の改善を図っています。

また接遇委員会では目標をかげ、接遇の改善に日々取り組んでいます。



輸液の内容を確認する病棟看護師



管理栄養士による個別栄養指導



調剤業務を行う薬剤師



院内デイケア「ひなたぼっこ」



病室へ案内する看護助手



発語の様子を確認する言語聴覚士

■ 地域包括ケア病棟では自宅退院に向けて準備を整えます

リハビリスタッフが療養生活全般に深くかわり、医師や看護師、介護職員など他のスタッフと協力して総合的に身体機能の回復を目指しています。歩く力、トイレ動作、むせることなく食べることなどの生活に必要な動作能力を改善し、低下を防ぐことは在宅復帰にとって重要です。また院内デイケア「ひなたぼっこ」では高齢な患者さま向けにレクリエーションのプログラムを組み、寝たきり防止に努めています。

■ 地域の医療機関とのネットワークで皆さまの暮らしを支援します

地域のかかりつけ医師やケアマネジャー、訪問看護師、介護事業所と連携をとり、自宅へ退院される際の医療や介護に支障がないように配慮しています。



歩行練習を行う理学療法士



日常生活動作を確認する作業療法士



画像診断・内視鏡検査機能

地域の「画像診断センター」「内視鏡センター」として、各種検査機能をご利用いただけます。

カプセル内視鏡をはじめ、高度な検査機器をそろえています

内視鏡検査装置では小腸内視鏡検査のカプセル内視鏡をはじめ、経鼻内視鏡検査なども完備。

画像検査装置では、PACSシステムを導入し、認知症診断システム(VSRAD)や急性期の脳梗塞の検査も行える1.5テスラMRI、CTを完備。地域の「内視鏡センター」、「画像診断センター」として、地域の先生方に便利にご利用いただける体制を整えています。



緊急時にも対応可能な内視鏡検査

検査のご依頼は、当院の地域連携室へ。患者さまのご都合に応じて日程を調整し、速やかに検査を行います。検査後は、画像データ(CD-R等)を患者さまに直接お渡しし、常勤の放射線科専門医や消化器内視鏡指導医による診断レポートを迅速(病理検査結果は7日以内)に診療所へお届けします。先生方は画像データ(CD-R等)と診断レポートの双方から、患者さまの病状を把握でき、よりの確な診断と治療にお役立ていただくことができます。また、内視鏡検査では適時、内視鏡的粘膜切除手術(EMR)や止血術、食道静脈瘤結紮術なども行っております。

スタッフは、放射線技師が24時間365日常駐し、臨床検査技師がオンコール体制で緊急検査に備え、体制も万全です。深夜であっても、脳出血や脳梗塞が疑われるケースでは、即座にCT・MRI検査を行い、

さらに専門病院への紹介を行います。こうした充実の検査体制が、当院全体の医療レベルを支えていることは、言うまでもありません。



放射線科専門医による画像診断



1.5テスラMRI



地域連携・ご相談機能

いつも患者さまを主役に、心の通った地域連携に取り組んでいます。

内科の二次救急病院として地域のみなさまを見守ります

「地域連携」は、患者さまにより良い医療や介護を提供する上で欠かせないテーマです。当院では日ごろから地域の高次機能医療機関と連携を深め、より高度な治療が必要と判



地域の方々への健康講座

断した患者さまを速やかにご紹介できるよう努めています。

一方で、地域の医療機関はもちろん、福祉施設、居宅介護サービス事業所との協力関係も大切にしています。その関係は緊密で、連携の形も＜紹介・逆紹介＞だけに限らず、フレキシブルです。たとえば、入院中の患者さまが、婦人科、泌尿器科などの疾患を抱えておられる場合、その専門医に往診をお願いすることもあります。また、退院後もご希望にそった医療機関や福祉施設、居宅介護サービス事業所を紹介し、継続した医療福祉サービスを受けていただけるよう対応しています。

こうした橋渡しを担うのは、地域連携室のスタッフ。患者さまとご家族を第一に考え、地域の医療福祉ネットワークのなかでより良い



フロアごとの医療相談員がご相談に応じます

医療と福祉サービスを提供できるようコーディネートしています。

また、地域連携室に「相談カウンター」を設け、患者さまやご家族の相談にMSW(メディカルソーシャルワーカー)が親身になってお応えするなど、精神的な面でも支援しています。



施設・設備紹介

患者さまにとってより良い療養環境、スタッフにとって働きやすい環境が整っています。

① 病室

広く心地いい病室。インテリアに障子を取り入れるなど、ご自宅のようなくつろぎ感を大切にしました。



③ スタッフステーション

コミュニケーションに配慮した、広いオープン・カウンター。患者さまやご家族のお声に、いつでも「笑顔」でお応えします。



⑤ 外来待合スペース

明るく、開放的な待合スペース。月1回、生活習慣病予防などのテーマを決め、地域の方を対象にした健康教室も開催しています。



⑦ リハビリテーション室(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)

広々としたスペースで、身体機能の回復をめざします。畳部屋や炊事・洗濯場などのコーナーも備え、日常生活動作を練習します。午前は外来リハビリを行っています。



⑨ 無菌製剤室

無菌製剤室には環境汚染と調製者の抗がん薬曝露を防止するための安全キャビネットを設置し、適切な個人防護具(ガウン、マスク、キャップ、ゴーグル、手袋など)を用いて、安全かつ無菌的に抗がん薬を調製しています。



② 食堂談話室

明るい陽光のなか、ご面会の方々と歓談のひとときをお過ごしください。容態が安定された方は、ここで食事もしていただけます。



④ 情報コーナー・相談カウンター

各種パンフや書籍をとりそろえ、保険制度の情報などをご案内しています。患者さまや、ご家族のご相談に、いつでも親身になってお応えしています。



⑥ 特約駐車場

当院周辺の2カ所に、合計24台収容の駐車場を完備しています。

- 駐車料金
- 病院受付にて補助券発行
- 30分以内：200円
- 3時間以内：300円



⑧ デイケアセンター(牧病院1F)

牧病院に併設されたデイケア(通所リハビリテーション)センター。介護保険における個別リハビリ重視の短時間型通所リハビリを提供しています。



⑩ 訪問リハビリテーション

リハビリテーション専門職員がご自宅に伺い、リハビリテーションを提供させていただきます。日常生活動作、介助方法、飲み込みの練習など、状態に応じたリハビリテーションを行います。退院後の方、在宅生活で不安をお抱えの方にご利用いただいています。

